

倫理 研究課題 <青年期03>

教科書：p ~ 資料集：p ~ ノートp ~

●パーソナリティ＝思考と行動の総体（≡個性・人柄）

＝能力（知能・技能）＋気質（感情の傾向）＋性格（意志の傾向）

＝遺伝的素質＋後天的要因（←個性化と社会化の影響）

- 類型論：ユング（2×4分類）、クレッチマー（3分類）、シュプリンガー（6分類）
- 特性論：アイゼンクの議論、「ビッグファイブ理論」（資 p11）がある。

※ミシェル：行動は、パーソナリティ特性だけでなく状況によっても決まる。

※M・ミード：パーソナリティ形成には文化が影響（南サモアでの研究）

●マズローの欲求段階説

- 一次的欲求：生理的欲求 = 個体保存（睡眠欲・食欲）＋種族保存（性欲）
- 二次的欲求：社会的欲求

or 「欠乏欲求」と「成長欲求（＝自己実現の欲求（能力を存分に発揮して社会に貢献）」

●欲求不満 → 葛藤（コンフリクト） → 適応

- | | | | |
|---|-----------|---|-------------------------|
| { | (+) ⇔ (+) | { | 合理的解決（社会的に妥当な反応） |
| | (+) ⇔ (-) | | 近道反応（反社会的な反応） |
| | (-) ⇔ (-) | | 防衛機制（無意識の自己防衛反応） ← フロイト |

●フロイト：無意識の底（エス）にある性的衝動（リビドー）を、自我と超自我が調整

後年、「生への欲動（エロス）」と「死への欲動（タナトス≡デストルドー）」による説明も

ユング：無意識＝個人的無意識＋集合的無意識（←元型≡象徴的イメージ）

（生物的、人間的、文化的、家族的）（グレートマザー、影、アニマ、アニムス）

アドラー：原因ではなく目的から行動を説明。対人関係における個人心理を平易に記述

★防衛機制の「投射」は偏見や差別と結びつきやすい。どうしてだろうか？

.....

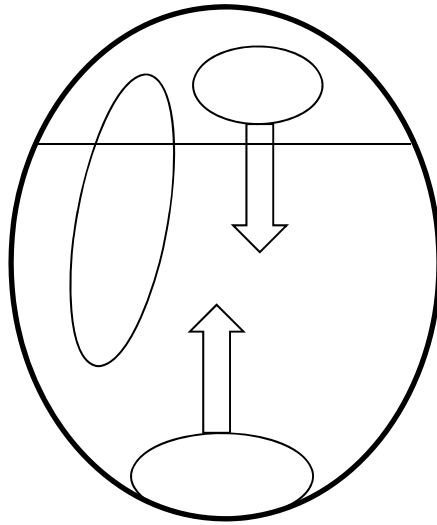
.....

★防衛機制に陥らず合理的解決ができるようになるためには何が必要なのだろうか？

.....

.....

【フロイト】



【ユング】

